

# ランダム化比較試験のシステマティックレビューにより 社会福祉学のエビデンスを得る

聖路加国際大学看護学研究科 国際看護学

教授 おおた えりか  
大田 えりか

システマティックレビューとは、同じ研究課題に関して検討した研究を、数ある文献データベースをもとに網羅的に検索し、それぞれの研究の情報の質を系統的に吟味したうえで、一定の情報の質を持つものだけを残して、その研究結果を可能な範囲で統計学的に統合するという手法である。システマティックレビューを利用することによって、最新のエビデンスに基づいた効果的な保健医療の提供、臨床現場での問題の解決、新しい効果のある予防や治療の導入することができる。

システマティックレビューの流れは、PICO 立案、網羅的検索、スクリーニング、リスクオブバイアスの評価、データ抽出、メタ解析（できない場合はナラティブに結果を記載）、GRADE 評価である。本講演では、社会福祉学のエビデンスを得るためのランダム化比較試験のシステマティックレビューを実施するための一連の流れを簡単に解説する。